

平成29年度 新居浜市保健センター運営委員会議事録

- | | |
|-----|--|
| ◆日時 | 平成29年8月22日(火) 13:00～13:40 |
| ◆場所 | 保健センター 3階 中会議室 |
| ◆議題 | (1) 平成28年度保健センター事業報告
(2) 平成29年度保健センター事業計画及び実施状況について
(3) 胃内視鏡検査導入に関するアンケート調査結果について
(4) その他 |

出席者：中山委員長・井石委員・田所委員・加藤委員・近藤委員・山内委員
白石副委員長・伊達委員・木俵委員・藤縄委員・伊藤委員・藤田委員

欠席者：なし

傍聴者：なし

事務局：木戸所長・宮崎・近藤・堀・山内・渡辺・岩崎・岡部

事務局（渡辺） 只今より、平成29年度新居浜市保健センター運営委員会を開催いたします。

本日は、お忙しい中を御出席いただきまして有難うございます。

また、この会は、「新居浜市審議会等の公開に関する要綱」に基づき傍聴席を設けておりますが、本日の傍聴者はございません。

それでは、お手元の会次第にそって進めさせていただきますので、よろしくお願いいいたします。

会に先立ちまして中山委員長が御挨拶を申し上げます。

中山委員長 本日はお暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。議事に沿って進めさせていただきますので、みなさんの忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいいたします。

事務局（渡辺） ありがとうございます。4月の異動で変更となった委員の方もいらっしゃいますので、委員の皆さんの自己紹介をお願いいたします。資料にあります委員名簿に添って中山委員さんから順をお願いいたします。

委員自己紹介

事務局（渡辺） ありがとうございます。

それでは保健センター運営委員会設置要綱第5条2項にありますとおり、これからの議事進行は中山委員長にお願いします。

中山委員長 それでは、議題（1）平成28年度保健センター事業報告と（2）の平成29年度保健センター事業計画及び実施状況について事務局から説

明をお願いいたします。

事務局（木戸）

平成28年度実績及び平成29年度保健センター事業計画について説明いたします。お手元の資料1ページをご覧ください。資料の右端は、平成28年度実績です。その左隣の実施予定回数は平成29年度の事業計画回数となっています。事業項目が多いので、主に昨年度からの変更点や重点事業等についてご説明いたします。

まず、母子保健事業についてです。新居浜市では、妊娠期を健やかに過ごし、母子ともに健康な出産・育児が行えるよう、母子健康手帳の交付、妊婦健康診査・歯科健診、乳児家庭全戸訪問事業、乳幼児健診、発達相談、経過観察児フォローアップ事業等を実施しております。

平成28年度から変更になった点は、少子化対策の一環として、不妊に悩む人に対して不妊治療費の一部を助成する「一般不妊治療費助成事業」の対象者年齢を、40歳未満から、43歳未満に引き上げました。28年度の実績は延べ36人です。また、特定不妊治療費助成事業は、これまでの体外受精や顕微授精に加えて、男性不妊治療についても対象となりました。実績は延べ77件で、そのうち男性不妊治療の申請は、2件ありました。2ページ下から3項目の関係機関との連絡関係ですが、フォローが必要な妊産婦や新生児等について、医療機関連絡票を活用して連携を図ることで、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援に繋がっています。また、里帰り出産等の他市からの訪問依頼への対応も行っています。昨年度の実績は293件です。年々件数は増えてきておりますが、切れ目ない子育て支援や、虐待防止等に対する関係機関の意識が高くなってきていること、医療機関との連携体制が定着してきたことによるものと考えております。

次に、成人期の健康支援の取り組みについてです。成人期の保健事業につきましては、主に健康増進法に基づき、各種の検診・健康相談・健康教育、健康手帳の交付・家庭訪問指導、ウォーキング推進事業、食育推進事業、禁煙推進事業、健康づくりポイント事業などがあります。

資料の3ページをご覧ください。3段目の成人歯周病検診ですが、これまでは40～70歳を対象者としていましたが、昨年度から30歳から70歳と、対象年齢を若年層へ拡大して実施しております。昨年度の受診者数は1,255人、その内、30歳代の受診者数が305人（男99人、女206人）、全体の24.3%でした。はがきによる受診勧奨もしておりますが、若い世代の歯科保健への関心も高いことがわかりました。

また、下から2段目の若年者健康診査については、健診の機会に恵まれない18歳から39歳の男性を対象に、昨年度から健康診査を実施しております。受診者は53人でしたが、内8割近くの人に生活習慣病の疑いなど、何らかの異常が認められ、保健指導に繋がっています。

次に、がん検診についてですが、昨年度の実績は表のとおりです。

がんの早期発見・治療によりがんによる死亡を減らすために、一人でも多くの方にがん検診を受けていただくよう、平成27年度から胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がん、肝炎ウイルス検診の個人負担金を無料にして、市民が受けやすい体制にいたしました。平成27年度は前年度に比べて、約2倍の受診者数になりましたが、昨年度は、受診者数は伸びておりません。

次に4ページをご覧ください。禁煙推進としまして、昨年度、新居浜では初めて「第16回全国禁煙推進研究会」が開催され多くの方が参加されました。それに併せて、市内のすべての中学生 3,484人に対して、県医師会が作成している「喫煙防止教育冊子」を配布し、禁煙推進の普及啓発をいたしました。

次に、健康増進事業についてです。資料の5ページをご覧ください。健康づくりリーダーとして、今年度7月から2年任期で新たに87名の健康都市づくり推進員を委嘱いたしました。毎月1回の研修会、ウォーキング推進事業の企画・運営、にいはまげんき体操の普及啓発、地域での健康づくり活動などを行っていきます。

次に、4項目目の健康ポイント助成事業ですが、この事業は、市民の健康づくりに関する関心を高めて、健康行動をとるための動機づけになるように、平成27年10月から開始した事業です。健康づくりに関する取組みをポイント化し、ポイントに応じて、施設利用券や図書カード等と交換したり、また、社会貢献として小中学校や幼稚園や保育園に「図書カード」として寄付したりすることもできます。平成28年度の申請者、1587人にポイント手帳を交付しました。平成29年1月に第1回目のポイント交換申請があり、505の方が、貯まったポイントを図書カードや施設利用券に交換されました。学校や保育園に寄付された方もいました。今年度は、新たにウォーキングや健診の受診、食生活改善などの健康づくりの実践者を1000人増やすことを目標としています。

次に、体組成測定についてです。昨年度、健康づくりの運動や生活改善の効果測定を行ない、健康づくりへの意欲の維持向上を図るため、体組成計を購入いたしました。市民体育館やウイメンズプラザなどで

実施している教室に合わせて延べ1935人の方の測定を行いました。今年度は特定健診の結果説明会の日程に合わせて、定期的に体組成測定と生活改善指導を実施しています。

次に、食育推進事業についてです。食育推進計画では、「元気つくろう！食力（食事から）」をスローガンに、重点目標として、「食のバランスを整える」「正しい生活習慣を身につける」「食文化を継承し、食環境を整備する」と3つを掲げ、具体的な目標を設定して食育を推進しています。実績につきましては、資料5・6Pをご参照ください。特にP6の減塩推進事業につきましては、食生活改善推進協議会と共同で、減塩目標を決めて実践する「減塩チャレンジ」を3,260枚普及することができました。今年度も3,000枚を目標としています。

次に、感染症対策事業については資料7Pをご覧ください。3段目の乳幼児予防接種として、昨年10月からB型肝炎予防接種が定期接種になりました。ここには掲載しておりませんが、昨年度、新型インフルエンザが発生した場合の、ワクチンの確保、供給体制、予防接種体制等に関する対策のガイドラインを作成いたしました。新居浜市医師会の御協力によりまして、「新型インフルエンザ等対策措置法等に基づく住民接種の接種体制に関する覚書」を締結いたしました。

続いて、資料8Pの精神保健事業については、自殺予防や心の健康づくりに関する事業や普及啓発を実施しています。今年度は、思春期のメンタルヘルスをテーマとした講演会や啓発事業を計画しています。

次に医療対策事業ですが、昨年度、医師会との協働事業により、救急医療や適正受診についての啓発DVDを作成いたしましたので、今年度はそれを活用して計画的に啓発していきたいと考えています。

また、医師確保のための新規事業としまして、新居浜市医師確保奨学金貸付制度や医療機関新規開業等補助事業を創設いたしました。

最期の9ページは、普及啓発として実施しております出前講座やロビー展示などについての実績をまとめたものです。

以上で事業実績及び計画の説明を終わります。

中山委員長

ありがとうございました。ただいまの事務局の説明について何かご質問やご意見はありますか。

井石委員

がん検診ですが、子宮頸がんとか大腸がんとか全部回数が去年より減っていますが何かあるのですか。

事務局（山内）

昨年度は日程の後半にかけて受診者の人数が増えましたので、1月あたりに追加の日程をとりました。今年度は当初の計画であげておりますが、

予約人数によっては、検診団体との交渉により日程を増やすこともありますが、当初の計画としましては28年度も29年度もほとんど変わりありません。

井石委員
事務局（山内）
中山委員長
近藤委員

予算が減ったとかそういうわけではないんですね。

それは大丈夫です。

よろしいですか。それでは他に。

精神保健事業で、教職員の方へのメンタルヘルスと対応について計画していただきありがとうございます。ぜひ理解を深めていただくようお願いいたします。特に発達障害の件も含めて理解していただきたいと思えます。よくわからずに大人になって困るという方もいますし、IQ60そのあたりの意味が分からないと言う先生方もおられますので、IQ70より下回ったらちょっと困るんですよというのは理解しておいていただきたいと思えます。

1つお願いがありまして、母子保健についてですが、最近よく話題になっているかと思いますが、妊婦そして出産した後のうつ病が5～6倍以上に伸びていますし、産婦人科学会も問題視していますので、子供さんへの手立ては結構あるんですがお母さんへうつが大丈夫かとかその辺のあたりもぜひ気を付けていただけたらと思えますので、一緒に見ていく中で、持っておられると思えますが健診用のスクリーニングテストなどしていただけるとありがたいかなと思えますので、ぜひお願いします。

中山委員長
加藤委員

じゃあ加藤先生。

はい、母子保健事業で最初の一般不妊治療費助成事業で年齢を引き上げたのは何か理由がありましたか。

事務局（宮崎）

以前は40歳未満でしたが、市民の方から43歳未満に引き上げてもらえないかとの要望もありました。保健センターとしましては一般不妊治療から特定不妊治療に移行し、早期に手立てを打てるというのではないかと思ひ、43歳未満へ引上げるには躊躇した部分もありましたが、市民要望もあることから43歳未満に引き上げました。

加藤委員
中山委員長
加藤委員

はい、ありがとうございます。

他には。

はい、健康都市づくり推進協議会でも言わせてもらっていますが、「元気プラン新居浜21」の中にも入っていますが、COPDについて取り上げているのが出前講座でちょっと取り上げているくらいなので、やはりこれから非常に重要な疾患になってくるので、ぜひ事業項目として掲げていただくくらいのやり方をぜひともお願いできたらと思ひ

- ます。今度の計画の中でももう少し積極的に新居浜市として取り上げていただけるようお願いします。
- 事務局（木戸） 都市づくりの中でも先生にご意見をいただいていたので、計画の中で取り上げていきたいと考えております。
- 加藤委員 世界COPDデーもありますし、チャンスはいくらでもあると思いますので
- 事務局（山内） 今年はちょうど11月15日は1歳半健診の日でもありますので、PRというかたちではありますが周知していきたいと思います。
- 中山委員長 他にご意見ご質問ございますか。
- 事務局（木戸） 先ほど近藤先生からご意見いただきました母親に対するメンタル的な支援につきましては、出産後1か月以内に家庭訪問をしますがその時に、エジンバラ質問票を使ってうつ傾向などを発見して、できるだけ早くに支援したり、必要な場合は医療機関につなげるようにしております。また、母子健康手帳を交付する際に妊婦相談がありますが、その中で以前に精神的なことで治療を受けたとか既往がある方につきましては、母子手帳発行の時に把握して、妊娠中からファオローできるように努めております。
- 中山委員長 他にございますでしょうか。
- 事務局（宮崎） 先ほどの母子保健事業に加えてですが、医療機関の方からも妊娠中や特に産後は連絡票もたくさんいただいて、気になるお母さんとか子供さんも含めて、連絡票のやり取りができる体制が整ってきております。精神疾患を持たれたお母さん方の子育ては結構大変なケースだったりしますので、精神科の先生方とも連携を深めていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしく申し上げます。
- 近藤委員 いつも思うことですが、協力体制は非常にいいなと思っておりますが、なにぶん精神科医療のマンパワーも不足していますし、どういう体制が取れるかといったこと自体を精神科病院の院長先生なども含めて話し合いの場をつくっていただけるとありがたいと思います。クリニックというところ自体もあまりないので、相談しながら少ないマンパワーでなんとかやりくりできればと思っています。
- 中山委員長 ありがとうございます。その他追加の意見はございませんか。
- 事務局（山内） それでは、続いて議題（3）の胃内視鏡検査導入に関するアンケート調査結果について事務局より説明をお願いします。
- 事務局（山内） 胃内視鏡検査導入に関するアンケート調査について説明いたします。新居浜市における胃がん検診は、胃部エックス線による集団検診として従来から実施してきたところではありますが、平成26年9月から7

再開催された「がん検診のあり方に関する検討会」での取りまとめを踏まえて、平成28年4月に胃がん検診実施要領が改正されました。それにより胃がん検診は、従来の胃部エックス線検査に加え、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査のいずれかを選択する方法となり、対象者は、区域内に住所を有する50歳以上の者で原則として2年に1回の検診となりましたが、胃部エックス線検査については、当分の間、40歳以上の者を対象とし年1回実施しても差し支えないとなりました。胃内視鏡検査の実施に当たっては、日本消化器がん検診学会による「対策型検診のための内視鏡検診マニュアル2015年度版」を参考にし、常に日本消化器がん検診学会の定めたところにより、精度管理を行わなければならないとあります。胃内視鏡検査によるがん検診は、胃部エックス線検査に比べ、検査を実施する医師や医療機関の確保、検診体制の整備・拡充等が必要でありますことから、市内医療機関の現状を把握させていただきたく、資料にありますアンケートをこの6月に実施させていただきました。対象の医療機関は、胃がん検診の精密検査医療機関として愛媛県に登録していただいている市内の15医療機関です。まとめたものが資料の10～11ページです。

2番の①の資格を有する医師がいるか、②の年間100件以上の検査実施医師がいるか、3番の自動洗浄消毒器の有無について、4番の参加した場合の受け入れ可能状況①日数②人数です。5番のダブルチェックについてです。これらを踏まえて、6番の検査医または読影医として参加可能かについてです。

なお、現在県内で胃内視鏡検査を対策型検診として実施している市町はございません。松山市が今年度10月開始に向け、医師会や検診団体と事業説明や精度管理等について協議を重ねていると聞いております。あと、宇和島市では以前より、国の指針に準拠していませんが、指針以外の検診として実施しています。

今後は今回のアンケート調査結果を医師会の消化器部会に報告する予定です。また、松山市や県内の動向や市民の要望も調査したいと思います。これらを踏まえまして、胃内視鏡検査実施に向け、この委員会内の部会で検討していけたらと考えております。

中山委員長

事務局の説明に関して何かご質問やご意見はありますか。これは何年度の予算というか、何年度の実施予定ですか。

事務局（山内）

まだ何年度実施とはしていませんが、来年度実施は難しいと思います。平成30年度は難しいと思います。

事務局（木戸）

まずは検診体制とすることが前提となりますので、医師会にご協力を

いただいて、検診体制ができて、市民要望どれくらいあるのかの調査も実施した後になります。

中山委員長
事務局（山内）

検診の期間は決まっていますか。随時なのかそれとも1年間ですか。健診期間は他の集団検診と同じように4月から3月の、もう少し短くなるかもしれませんが、年度の形を考えています。

加藤委員

そういうことも含めて、今回はどのくらいの数が可能かということを知りたかったからアンケートをされたと思いますが、実際には精度管理も含め、この数では全然できないと思いますので、まずは医師会にしっかりとご相談いただいて、医師会の中で十分検討して、できる方法を考えていかないととても実施できる状況でないと思います。市の方で独自に検討されてもなかなか難しいと思いますので、医師会の消化器部会なり医師会全体にご相談していただくことが大事ではないでしょうか。

そのように思います。それから、内視鏡検診だけでなくその他の検診は考えていないのでしょうか。ABC検診とかヘリコバクターピロリの検診などをやっている自治体もでてきておりますが、内視鏡とかエックス線よりはコストパフォーマンスが良いという結果が出ているわけですが、そういうことも含めて、学術的な見解も含めて、実施にできるかどうか早めに全般的にご相談された方がいいのではないかと思います。

事務局（木戸）

ありがとうございます。新居浜市のがん検診は国のがん検診実施要領に基づいて実施しておりますので、実施体制が取れば内視鏡検査を早期に導入していきたいと考えております。後、ABC検診やピロリ菌検査につきましては、市民要望などもあります。根拠的なことなどいろいろありますので、他市の状況など調査研究しながら、今後検討していきたいと思います。

中山委員長

要はこれから調整して、実施する方向で前向きに検討していくということですね。

他に何かこの件について、ご意見、ご質問はございませんか。

特になければ、せっかくの機会ですので、この場を借りて各委員さんの方から何かあればお願いします。井石先生、何かございませんか

井石委員

大腸がん検診は前から言っていますが、もっと増やすようにしたらいいのではないですか。

事務局（山内）

増えてくれるといいのですが、精密検査が必要なのに受けていない人が結構いますので、まずは検診を受けていただいて、精密検査も受けていただけるようPR、周知啓発に努めたいと思います。

中山委員長
加藤委員

田所先生何かないですか。加藤先生、何か追加することはないですか。毎年言っていますが、がん検診が集団検診の中でしかできないのが新居

浜市の特徴ですが、本当に広げるのであれば、個別検診の中でできるように。(特定健診の) 集団検診と個別検診は自己負担が違う、その辺も整合性というか、いろいろな自治体でいろんなやり方をしていますが、これまでの新居浜市のやり方がこれでいいのか、広げるという意味では一部阻害要因になっていないか、もう一度検討していただいて、個別検診を大切にしていいただいたら広がるのではないかとこの可能性を感じておりますので、検討していただきたいと思っております。

- 中山委員長 近藤先生何か追加のご意見はございますか。
- 近藤委員 一つ確認ですが、最終的に認知症の旗振りはこの課がするのですか。
- 伊藤委員 包括支援センターです。
- 近藤委員 では、保健センターはしなくてもいい。
- 伊藤委員 しなくてもいいのではないです。
- 事務局(木戸) 市民からの相談があれば対応しています。
- 中山委員長 山内先生何か追加のご意見ございますか。
- 山内委員 若年者健康診査18歳から39歳ですが、もう少し受ける人が増えたほうがいいので、そのあたりPRをお願いしたい。
- 事務局(山内) 結果が異常ありの方も多いので、始まったばかりではありますが、もっと増えるよう周知啓発していきたいと思っております。
- 中山委員長 福祉部長も何かございますか。
- 白石委員 いつもご協力いただきありがとうございます。いろんなご意見をいただきながら、反映できる点は反映していきたいと思っております。
- 中山委員長 伊達課長さん、何かありますか。
- 伊達委員 特にありません。
- 中山委員長 木俣課長さん何かありますか。
- 木俣委員 特にありません。
- 中山委員長 藤縄主幹何かありますか。
- 藤縄委員 生活習慣病予防については、連携して一緒にやっていきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。
- 中山委員長 伊藤副所長さん何かありますか。
- 伊藤委員 健康づくりと介護予防は切り離せないと思うので、今後も連携して市民の健康づくりをしていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。
- 中山委員長 藤田副課長さん何かありますか。
- 藤田委員 児童虐待については、いつもご協力いただきありがとうございます。深刻なケースも増えてきておりますので今後ともよろしく申し上げます。
- 中山委員長 他にないようでしたら、以上を持ちまして本日の保健センター運営委員会を閉会いたします。みなさまご苦労様でした。